

Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

2022
Vol-33
No.4

とけい zoo



目次

ZOOダイアリーグラフ	3
動物病院から	5
Keeper's Note	6
Zoo Memories	7
動物園再発見	8
とべとべコミック	10
飼育レポート	12
職員紹介	16
読者投稿用紙	17
どうぶつなぞなぞクイズ	19

—表紙説明—

■ ミナミコアリクイ

英名：Southern Tamandua

学名：*Tamandua tetradactyla*

主に、南アメリカ北部や東部に生息し、1日の大半を木の上で生活する樹上性の動物です。主食のシロアリを食べるためにアリ塚を壊す大きな爪、シロアリを効率よく捕まえることのできるネバネバした舌などを持っています。

現在とべ動物園では2021年11月14日に高知県立のいち動物公園からやってきたオスのペロ君に会うことができます。ミナミコアリクイ特有のベストを着たような模様や、爪を痛めないための独特な歩き方、木の上で足を滑らせた時に尻尾がどんな働きをするかなど、たくさんの観察ポイントと魅力を備えたペロ君をじっくりご覧ください。

(写真：池田 智亮・文：村上 ひなの)

ZOOダイアリーグラフ

2021.11.1~2022.1.31



～11月6日 計量クイズ～



11月が「計量強調月間」であることにちなみ、モルモットとハリネズミの計量クイズが行われました♪実際にそれぞれの動物を近くで観察した後、悩みながら投票している姿が印象的でした(*^^*) 正解された皆さんおめでとうございます!!

～11月6日 イルミネーション・点灯式～



11月と12月の毎週土曜日にイルミネーションが開催されました! 初日の点灯式では、たくさんの方にお越しいただき、園長と子どもたちが点灯スイッチを押して無事スタート☆スリル満点の夜のジップラインにも注目でした♪

～12月4日 ～ピース22歳誕生日会～



12月2日に、22歳の誕生日を迎えたホッキョクグマの「ピース」。河原調理専門学校の生徒さん作成の氷のケーキを食べる様子を見せてくれました(^)♪ 立派に成長しても、相変わらずかわいい姿にメロメロです♡

～12月28日 干支送り～



丑年から寅年へバトンタッチ🐯🐰ウシ代表としてミミナガヤギ(ウシの仲間)のモモくんと、トラ代表のダイくんが2021年最後の開園日を盛り上げてくれました♪予想以上のにぎわいで、良い年未年始を迎えられそうな一日となりました☆

【毎月のガイド】

- 毎日「ペンギンのお食事タイム」
- 毎日曜日「ZOO タイム 1130」
- 毎土・日曜日・祝日「ヒポヒボランチ」(有料)
- 第3火曜日「園内まったりお散歩」
- 毎土・日曜日・祝日「ソウ様のランチ」(有料)
- 第2土曜日・第4日曜日
- 毎日曜日「キリンの瞳に大接近」(有料)
- 「ボランティアガイド」

* 有料ガイドのチケット販売は管理事務所でを行っています。

* コロナウイルス感染拡大予防のため中止することがあります。詳しくは当園HPをご覧ください。

出産報告

12月16日 エミュー(不明1)

元気に大きく
育ててね♪

2021年10月26日産卵のエミューの卵が、12月16日に孵化しました！まんまるの目がとても可愛い(*^^*)これから大きく成長していくのが楽しみです♪



搬出報告

11月28日 ビントロング(♀1)

11月29日 ライオン(♀1)

今までありがとう
元気でね！

ビントロングの「ルビー」が福岡市動物園にお引越ししました。2020年2月13日にとべ動物園で生まれ、あどけない姿が人気でした♪福岡でも元気に楽しく過ごしてね(*^^*)



搬入報告

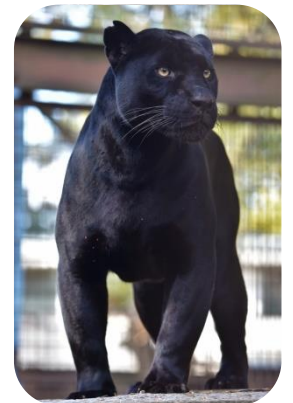
11月1日 インドクジャク(♂1,♀2)

11月8日 ジャガー(♀1)

11月14日 ミナミコアリクイ(♂1)

ようこそ
とべZOOへ！

京都市動物園からきてくれたジャガーの「ミワ」ちゃん、現在8歳の女の子です！環境にもすぐに慣れた様子で、よく遊びよく食べる姿に安心しました。これからよろしくね♪



死亡報告

11月13日 インドホシガメ(不明1)

11月30日 ホンドタヌキ(♀1)

12月2日 マガモ(♂1)

12月7日 ホンドタヌキ(♂1)

12月25日 モルモット(♂1)

12月28日 コツメカワウソ(♀1)

12月31日 モルモット(♀1)

1月1日 カリフォルニアアシカ(♀1)

1月4日 ニホンザル(♂1)

1月21日 ブラッザモンキー(♀1)

アシカの「ソラ」は、新アシカ舎のガラス越しに近くに来ては愛嬌あふれる表情で人々を魅了してくれました。ありがとう。ゆっくり休んでね。

タヌキの「オレオ」と「ミルク」は仲良し夫婦として愛されました。天国でも仲良く過ごしてほしいと思います。お疲れ様でした。



ありがとう、やすらかに…



この辺りです

①傷病鳥獣として保護され、野生復帰に向けたトレーニング中のハヤブサ「迅（じん）」くんです。現在は鳥インフルエンザ対策で室内に収容しているため皆さんにご紹介はできませんが、園内でトレーニング中の迅くんをご覧になられた方もいらっしゃると思います。今回は迅くんの左頬（ほほ）に見つかった直径8mm程度の膨らみ（以下「患部」）の処置の様子をご紹介します。



この辺りです

ちなみにこの穴は耳です

③患部の羽毛を抜いてみると、付近の皮膚に小さなかさぶたがあったので、傷があり、そこから膿んで膿瘍（膿が詰まった袋）ができたのではと考えましたが、試験的に患部をメスで小さく切開しても膿が出てきませんでしたので、唾液腺が詰まったり、炎症などで液体が溜まったりしているものと判断し、内服薬で治療することにしました。



この辺りです

②麻酔をかけレントゲンを撮ってみたところ、患部は内部に液体が溜まったものであることが分かりました。カッコの辺りです。レントゲンは骨などの固いものは白く、空気や液体が溜まっているところは黒く写ります。



この辺りです

④一週間後のレントゲン写真です。患部の腫れは引き、切開痕もきれいになっていたので治療終了としました。迅くんにしてみれば羽毛の抜かれ損といったところですが、羽毛は比較的すぐに生えてくるので、インフルエンザ対策が明け、また皆さんにお会いできるころにはきれいな迅くんをご紹介しますと思います。

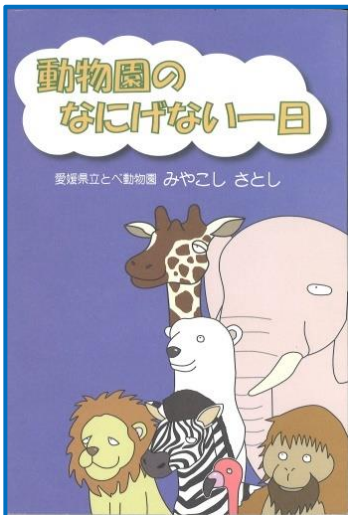
(獣医師 池澤紅輔)

Keeper's Note

☆図書室から☆

皆様は、とべ動物園に図書室があることをご存じですか？とべ ZOO に詳しい読者の皆さまならきっとご存じだろうと思います。こども動物センター内の一角にある図書室には、約 2800 冊近い本と全国の動物園・水族館が発行している広報誌や機関誌が所蔵されています。今回は、その中からおすすめの本をいくつかピックアップしてご紹介いたします。

まずは、こちら『動物園のなにげない 1 日』です。皆様おなじみ、本誌で連載中の漫画を集めた 1 冊ですが、現在キリンを担当している宮越キーパーの目

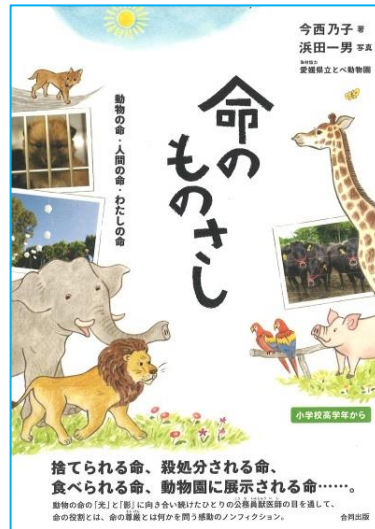


線で、とべ動物園での日常の出来事を描いた作品です。

作者の宮越キーパーによると、作中の「アフリカゾウとおたまじゃくし」という出来事をきっかけに『日々の出来事や自然のたくましさを伝えたい！』という思いで始めたそう。最初の頃は、スク

リーントーン貼りなど大変な作業もあり、1 つの絵を描くのに 1 日かけていたこともあったそうです。そうした裏話を踏まえて読むと、また違った面白さを感じられるかもしれません。とべ動物園に来園する前に読むと、きっといろんな動物との距離が近く感じられますよ。是非一度、この 1 冊を読んで予習をしてからご来園されてはいかがでしょうか？

続いては『命のものさし』という本をご紹介します。「命の価値」は違うのか。当園のみならず動物愛護センターやと畜検査場など、様々な命と向き合った渡邊清一元園長の視点から動物の命に向き合った 1 冊です。現在、動物園ではほぼすべての動物の死を公表しています。これは、二代前の渡邊元園長の「命を平等に扱う」という考えから始まりました。



動物園で最期まで大切に扱われる命がある一方、愛護センターなどで殺処分される命があるのも事実です。そして、同じ死でも感じる側の心の痛み方は異なり、身近であればあるほど心の痛みは深くなります。それは各々が持っている「命の

ものさし」が異なっているからだ。と筆者は作中で語っています。捨てられる命、殺処分される命、食べられる命、動物園に展示される命…。同じ命でも感じ方は人それぞれ異なっているのではないのでしょうか。実は、私が採用試験前にこの本をじっくり読み込み試験に挑んだという個人的に思い入れのある 1 冊。是非この機会に、あなたの持つ「命のものさし」について考えるきっかけになれば幸いです。

そんなたくさん本が所蔵されている図書室ですが、12 月に大掃除を行いました。これまで、ときどき本の整理整頓は行っていたそうですが、細やかな所まで掃除をするのはかなり久しぶりとのこと。棚から本を全て出して、棚の掃き掃除から拭き掃除など隅々まで綺麗にしました。



そしてこの機会に、図書室のレイアウトもプチリニューアル！`TOBE ZOO LIBRARY`コーナーを新たに設けました。当園の個体を取り上げられた書籍をはじめ、動物に関するデータを提供した本などを集めて飾っています。手に取りやすいレイアウトになっておりますので、この機会に本を手にとっていただき、お気に入りの 1 冊を見つけてみて下さいね。

(山本麻代)

Zoo memories

～記憶に生きる動物たち～

#7 ヒョウ(クロヒョウ)・アト



Profile

性別：メス

1994年4月21日生まれ

2013年7月24日死亡

(享年 19)

性格

人懐っこい

クロ(奥)とじゃれあうアト(手前)

2頭の間に仔は生まれませんでした。オスのクロとの仲睦まじい姿が印象的でした。



アトは、「クロヒョウ」と呼ばれるヒョウの黒変型で、母親のパニックが来園した翌月に誕生しました。

人工哺育で育ったため、人懐っこい性格でした。また、どこで覚えたのか「拝むポーズ」をとる癖があり、このことがきっかけでメディアに取り上げられて一躍「時のクロヒョウ」となったこともありました。

担当キーパーの思い出ばなし

ヒョウ舎がガラス張りになった時のことです。初めてガラス張りの放飼場にヒョウを放飼する時、他のヒョウより慎重な性格のアトなら大丈夫だろうと思い選びました。

いざ放飼すると、期待通りガラスにもすくなく慣れてくれました。ですが、安心して私が立ち去ろうとすると「ドカン」という音が。ヒョウの本能的なしょうが、背を向けた私を追いかけ、ガラスにぶつかってしまったようです。ごめんね、アトちゃん…。

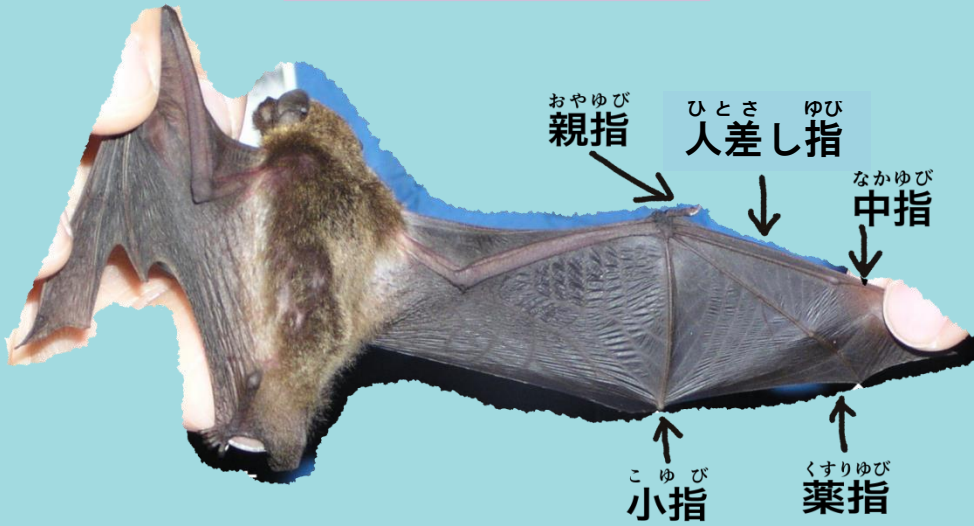


動物園再発見



第33回 アブラコウモリ

アブラコウモリの翼



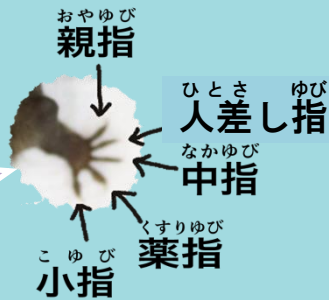
日本の哺乳類の中で種類が多いのは、げっ歯目（ネズミの仲間）と、翼手目（コウモリの仲間）です。

その中でもコウモリは絶滅の恐れのある野生動物にたくさんリストアップされています。

哺乳類で翼を羽ばたかせて空を飛べるのはコウモリだけです

ムササビやモモンガも空を飛びますが、皮膜を広げて滑空するだけなので、本当の意味で空を飛ぶとは言えません。

アブラコウモリの後ろ足



目は小さいけどちゃんとあります。

あまり見えていませんが、超音波を使って物や虫などを認識しています。





アブラコウモリは虫を主に食べて
おり、野生では蚊を1日に100匹
食べると言われています。



どこに住んでいるの？

アブラコウモリは人間の家の屋根
裏や壁の隙間、雨戸の戸袋などに
住んでいます。昔から身近な存在
だったので、別名「イエコウモリ」と
呼ばれています。

何を食べるの？

コウモリは血を吸うイメージがあ
りますが、血を吸うコウモリは
南米に生息する「ナミチスイコウ
モリ」「シロチスイコウモリ」「ケア
シチスイコウモリ」の3種類だけ
で、他の約1000種類のコウモリ
は虫や果物を食べています。
血を吸うコウモリは日本には生息
していません。

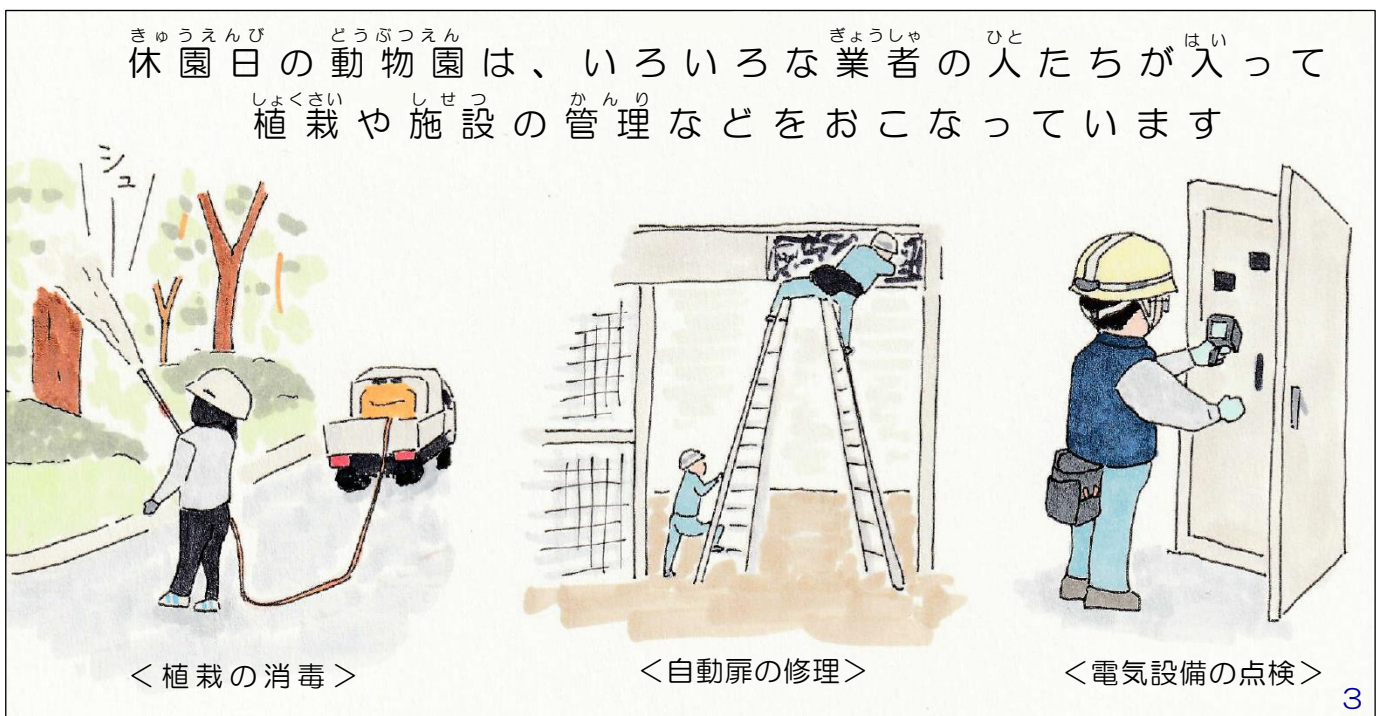
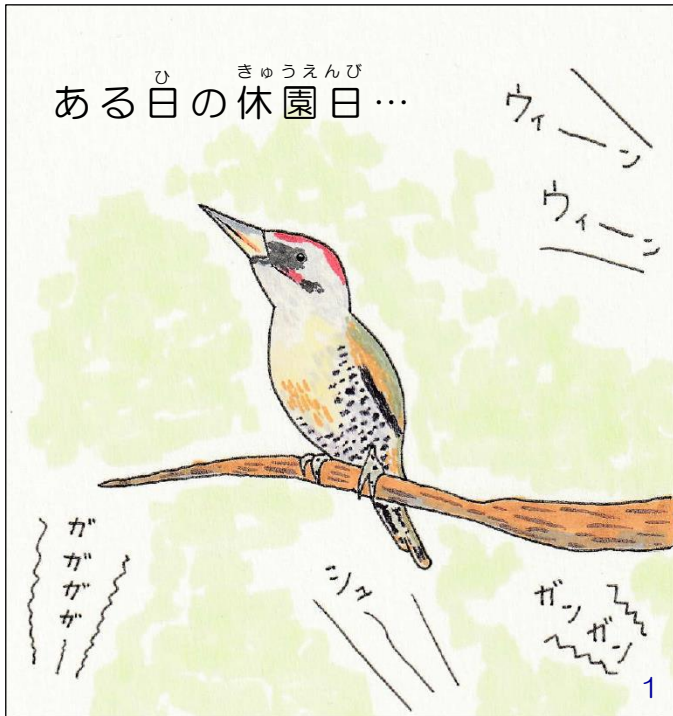
冬は冬眠していますが、春～秋の
夕方に街灯を見ていると、虫を食
べに来たコウモリた
ちを見ることができ
るかもしれません。






動物園の なにげない一日

～ 工事の音？～





 アオゲラはキツツキ目キツツキ科の鳥です。繁殖期には「ピョーピョーピョー」と大きな音でさえざりますが、なかなか姿を見つけることはできません。

シロオリックス新規導入個体の

混合展示までの道のり 技師 高田 優

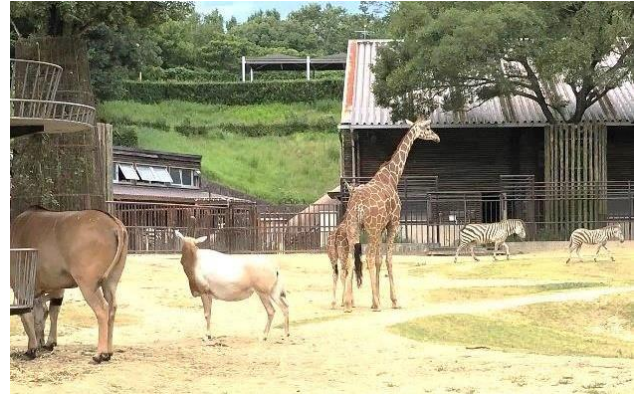


☆はじめに

シロオリックス (*Oryx dammah*) は、国際自然保護連合 (IUCN) のレッドリストにおいて、元の生息地では絶滅してしまい飼育下でしか確認できない種、すなわち「野生絶滅種」に指定されている動物であり、まさに絶滅のおそれが非常に大きい哺乳類の種の一つです。野生では絶滅した状況の中で、元々の生息地であるサハラ砂漠周辺の国々においては、保護区内のシロオリックスたちを野生に戻す取り組み等が行なわれています。また、世界中の動物園でもシロオリックスを飼育し繁殖させることで個体数の維持・増加をしていくなど、動物園の理念の一つである「種の保存」に則った保全の取り組みが行なわれています (生息地以外での保全の取り組みは「域外保全」と呼ばれます)。

とべ動物園では、サバンナ展示場にて以前よりオスとメスの 2 頭のシロオリックスを飼育してきましたが、繁殖はしばらく行われてきませんでした。この 2 頭は、現在年齢が共に 10 歳を越えてやや高齢となり、なおかつメス個体は出産の経験がないことから、今後の繁殖が成功するか不透明という状況でした。そこで、新しい血統の若い個体の導入を行なうこととし、2020 年 10 月に岩手サファリパークより 2 頭のシロオリックスの搬入を行ないました。

新規に導入されたシロオリックスの展示および今後の繁殖を目指すためにも、まずは元からいる個体に受け入れてもらう必要があると考えました。しかし、同じ展示場で暮らしていくにしても、個体間の相性などもあるため、シロオリックス同士の同居でも慎重に段階を踏んでいく必要があると言えます。またサバンナ展示場は、シロオリックスの他に、キリンやエランド、グラントシマウマといった草食動物が同居をする「混合展示」という形式で展示を行っています。そのため他種の動物との共存という課題もクリアする必要があります。



サバンナ展示場では、いろんな草食動物が「混合展示」で暮らしています

今回のレポートでは、シロオリックスの新規導入個体がどのようにして他の動物たちと一緒に過ごせるようになっていったのか、サバンナ展示場での混合展示にいたるまでの過程を段階的にご紹介します。

☆新規導入個体の紹介

- ・セツナ (性別：オス)
2019 年 3 月 24 日生まれ
性格：マイペースで、あまり物怖じしない
- ・リリィ (性別：メス)
2019 年 9 月 11 日生まれ
性格：少し怖がり、警戒心が強い
いずれも岩手サファリパークで生まれた個体です。



岩手からやってきた 2 頭
(左がリリィ、右がセツナ)

岩手サファリパークでは、2 頭ともたくさんのシロオリックスのいる同じ群れの中で過ごしていました。一方、他の動物とは区切られた展示場で暮らしていたそうです。

☆期間や方法

セツナとリリィは 2020 年 10 月 1 日に搬入され、その後検疫を経て、10 月 19 日よりサブパドックに 2 頭一緒に放飼することになりました。サブパドック（予備展示場）とは、獣舎とパドック（展示場）の間にある柵に囲まれたスペースで、ここから柵越しにパドックにいる動物たちと顔を合わせて、お互いの存在を認識し合うことができます。

その後、以前から飼育しているシロオリックスや他種の草食動物たちと段階的にパドックにて同居を行ないました（表 1）。パドックでの同居は 1 日 30 分～2 時間程で、トラブルが起きないかを飼育担当者が監視できる時間に行ないました。それ以外の時間は、2 頭はサブパドックで飼育し、柵越しでの顔合わせを継続しました。

表 1. 同居のスケジュール

同居する種名	同居開始日	同居場所
シロオリックス (コマチのみ)	10 月 26 日	サブパドック ・パドック
	11 月 9 日	獣舎内の寝室
エランド	10 月 26 日	パドック
キリン	11 月 2 日	パドック
グラントシマウマ	11 月 2 日	パドック

それでは、セツナとリリィのパドックでの終日展示を目標に、各動物たちとの同居練習のスタートです！

☆各動物との同居

★シロオリックスとの同居

元から飼育している 2 頭のシロオリックス（トラックス♂、コマチ♀）は普段別々に過ごしていたため、2 頭のうちメスのコマチ（2010 年 3 月 18 日生まれ）と同居することになりました。これは、野生のシロオリックスの群れが年齢の高いメスをリーダーとすることが多いため、年上のコマチに若いセツナとリリィがついて行く形が理想的と考えたことによ

ります。

10 月 19 日に初めてサブパドックに出たセツナとリリィのところに、コマチは柵際にすぐ近づいて行きました。2 頭は驚いた様子もあまり無く、コマチの方に近寄り、コマチもまた威嚇などはせずに、柵越しにリリィの耳元を舐めるなど友好的なスキンシップをとっていました。1 週間ほど柵越しの顔合わせを続けましたが、この期間では 2 頭はコマチの姿が見えると寄って行き、コマチもサブパドックの横で過ごす時間が長くなりました。



柵越しにコマチに懐く 2 頭

10 月 26 日にいよいよ同居を試みます。まずは、サブパドックにコマチを入れて、3 頭で一緒に過ごさせます。最初の 30 分はお互いにやや興奮気味でしたが、それ以降は馴れた様子で 3 頭並んで過ごしていました。



同居初日にしてこの一体感！！

思いのほか馴染んでいたもので、その日の夕方にはパドックに 3 頭を出してみることにしました。初めてパドックに出た 2 頭の反応には性格が出ており、怖がりのリリィは慣れない環境にフラフラと走り回っている一方、マイペースなセツナは動じることなく、他の 2 頭から離れて散歩するなど大物ぶりを（体は一番小さいですが）発揮していました。その後は

集まって草を食んだりするなど、3頭の“群れ”で仲良く行動することがよく見られたため、同種との同居は非常にスムーズに成功したと言えます。



右往左往するリリィ（中央）を尻目に堂々と遠くに行くセツナ（右奥）

パドックでの同居を継続した後、11月9日からは、それまで獣舎内の別々の寝室に収容していた3頭を同じ寝室に収容してみることにしました。寝室にはリリィも怖がることなく中に入ってきて、揉めることもなく3頭で採食を始めるなど終始落ち着いていたため、寝室内での同居も即日で達成することが出来ました。



寝室で座ってくつろぐ3頭

★エランドとの同居

セツナとリリィが初めてパドックに出た後、段々と落ち着いて過ごす様子を見て、同日10月26日のうちに、エランドとの同居も行なうことにしました。体の大きなエランドですが、警戒心の強いリリィは突っかかっていってしまうため、エランドも相手をして追い払おうとすることがありました。ただ、どちらも追いかけて回すようなことはせず、この日以降もお互い近づかなければ、角を合わせたりすることもなく、棲み分けるようにパドックで過ごすようになりました。



エランドと角合わせをするリリィ

★キリンとの同居

サブパドックでの顔合わせ中、オスのキリンがセツナやリリィに、顔を近寄せてきました。ただ、2頭とも思った以上に怖がる様子もなく落ち着いていることが多かったです。

11月2日からパドックでキリンとの同居を始めましたが、サイズが違いすぎるためかお互いほぼ無関心という感じでした。ただ、物怖じしないセツナがキリンの足元でウロウロしたり、座って休み始めたりした時には、見ているこちらが冷や冷やしました（汗）。



キリンに臭いを嗅がれるリリィ

★グラントシマウマとの同居

ここまである程度順調に進んだ各動物との同居ですが、最後の難関がグラントシマウマとの同居です。グラントシマウマはやや気が強く、今までもいろんな動物にちょっかいを出してきたので、担当者としても一番心配な同居でした。

11月2日の同居開始以降、案の定グラントシマウマたちはしばしばシロオリックスたちにちょっかいを出そうとしてきました。群れから離れたセツナや1頭で向かってくるリリィに対して、執拗にプレッシャーをかけ、威嚇の蹴りを入れようとするなど敵対的な行動を繰り返しました。セツナは比較的慌てず

にやり過ぎますが、リリィはフラフラ走り逃げ回り、追い立てられて転倒することもありました。幸いケガを負うことはありませんでしたが、このままではシロオリックスたちは落ち着いて過ごすことが出来ません。



グラントシマウマに追い立てられるリリィ

グラントシマウマの中でも特に執拗に威嚇を繰り返す個体があったため、11月16日にその個体をサブパドックに入れ、シロオリックスたちから離す方法をとりました。30分程分離していると、その間パドックにいるシマウマはシロオリックスに対して敵対行動をとらず、さらに分離終了後サブパドックから戻した個体も明らかに威嚇や追い回す行動の頻度が減りました。シロオリックスや群れの仲間から離されたことで心境の変化があったのかはわかりませんが、この日以降もシマウマが威嚇等をした場合は当該個体をサブパドックに1時間程度分ける方法をとると執拗な敵対行動は次第に無くなりました。

そして、11月24日を最後に威嚇はほとんど見られなくなったので、11月25日よりセツナとリリィの終日での混合展示を開始するに至りました。その後も餌台などでやや小競り合いがあるものの、他種の動物とお互いちょうどよい距離感を保ちながら、現在もシロオリックスの群れはサバンナ展示場でのんびり過ごしています。



**グラントシマウマに近寄られても
案外へっちゃらなセツナ**

今回は、およそ1か月ですべての動物たちとの同居を完了させることができました。特に、シロオリックス同士の相性が非常に良かったことが順調に進んだ要因かと思えます。今まで単独で過ごしてきたコマチが、年上のリーダーとして若いセツナとリリィを受け入れてくれたこと、またオスのセツナが幼く、メスに対してガツガツいかなかったことも群れの調和がとれた要因かと思えます。

また、他種ではグラントシマウマとの同居に手こずり、あまりに執拗に突っかかるシマウマたちを見て、当分監視は外れられないかと思っていました。しかし、“一旦分離する”という方法が今回有効であることを発見することができ、今後も新しい搬入個体や子どもが生まれた時の同居の際には、今回の結果を参考に取り組んでいきたいと思えます。

最後に、セツナとリリィは現在もサバンナ展示場の一員としてよく馴染んでいます。あれほど怖がっていたリリィもシマウマたちの近くで座って休むようになりました。また、マイペースで無頓着だったセツナも大人に近づいてきたためか、他のシロオリックスやエランドと角合わせをする様子も時折見られます。



グラントシマウマが隣にいてもこの余裕!!

また、大きな目標であるシロオリックスの繁殖に向けては、元からいたもう1頭、最年長のオスのトランクス(2007年11月19日生まれ)とリリィのペアリングを現在試みています。シロオリックスは2歳ほどで性成熟するため、セツナもリリィもそろそろ大人の仲間入りなのですが、ペアリングの際にはあまり相手にされておらず、現状は繁殖には時間が必要そうです。皆様には、今後も展示場の一員としての、セツナとリリィの成長を見守っていただくとともに、繁殖への取り組みを応援して頂ければと思います。



このページでは、とべ動物園で
仕事をしている職員を紹介して
います。



★氏名を教えてください。

名智 柁友 (なち まさとも) です。

★出身地並びに出身地でのエピソードなど。

愛媛県久万高原町出身です。自然が豊富で子どものころはよく近くの川で魚釣りをしたり、野山を駆け回ったりして遊んでいました！野生動物に遭遇したこともあり、冬季に山でスキーをしていたらイノシシに追いかけられたこともあります (笑)

★趣味を教えてください。

ランニングとスキーです。もともと体を動かすことが好きで、小さい時からランニングやスキーを続けています。駅伝もやっているので休みの日などに時間を見つけて走っています。2021年12月の愛媛駅伝でたくさんの人が各チームを応援している姿を見てとてもうれしくなりました。

★なぜ飼育員を志したのですか？

子どもの時からとべ動物園に遊びに来ていて、将来ここで働きたいと思っていました。特に、高校三年生のときに高校生対象の実習に参加して、ライオンのエサやりのイベントでガイドをしたときに強く思いました。

★就職が決まった時の感想は？

就職の話が来たときは、前の職場で馬の上に乗っているところでした。馬の上なので飛び跳ねることはできませんでしたがそれぐらい嬉しかったです。

★現在担当のお仕事は？

アジアストリートにいるマレーバクとノマウマ、キュウシュウジカです。マレーバクを初めて近くで見た時にとにかく大きいなと感じ、鋭い歯に恐怖を感じたのを覚えています。

★動物園の中で好きな動物は何ですか？理由もあれば教えてください。

もちろん全部の動物たちのことが好きですが、特にヤギやヒツジです。鳴き声が一頭ずつ違うところや、たくさんの種類がいて見ていて面白いからです。好き嫌いが分かれるところですがヤギミルクがおいしいのも好きなポイントです。

★これまで経験してみて、仕事で嬉しかったことはありますか？

動物たちが元気で健康なことはもちろん、そんな動物たちを見に笑顔で来て下さるお客様を見ると嬉しくなります。

★今後やってみたいことはありますか？

コロナ禍で今は難しいですが、担当動物についてしっかり勉強し楽しいガイドができるように頑張りたいと考えています。

★座右の銘を教えてください。

「なせばなる、なさねばならぬなに事も、ならぬは人のなさぬなりけり」です。上杉鷹山の言葉で、努力に努力を重ね、全力で傾注すれば道は開けるという意味です。

★最後に意気込みをひとこと

自分はいろんな人たちのサポートもあってようやく夢の第一歩をスタートさせることができました。頑張りますので応援よろしくお祈りします。

読者投稿用紙

料
金
受
取
人
払
郵
便

松山南局承認

81

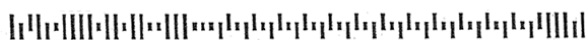
差出有効期間
2023年3月
15日まで

〒791-1190

伊予郡砥部町上原町 240

愛媛県立とべ動物園

愛媛動物友の会編集部 行




② 折り目


③ 折り目


のりづけ③

読者投稿用紙


(イラストや写真も同封できます)

 読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。


 Vol.33-4号でよかった記事、
つまらなかった記事は？


 どうぶつなぞなぞクイズの答え
(正解者のお名前は
Vol.34-1号でご紹介します)

答え ○○○○

 今後希望する記事・内容は？

(クイズの問題はP23参照)

 例会でよかった点、つまらなかった点は？

 例会で今後希望する企画は？

お名前

電話番号

住所

〒

会員番号

★友の会 家族・個人

★サポーター No. _____

会員の方は会員種別に○をし、会員番号をご記入ください。

どうぶつなぞなぞクイズ

☆問題です！

タイムラプスやストップモーションムービーを撮影するのが得意な動物がいます。さてこの動物な〜んだ？

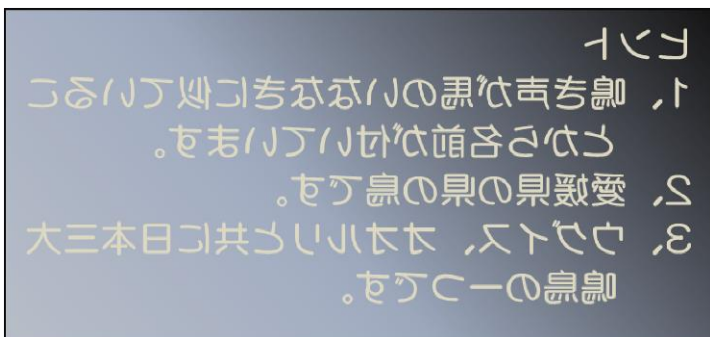


Vol.33-3 クイズ正解者

- ★会員番号 No.11 矢野 敬子さん
- ★会員番号 No.21 音地 秀起さん
- ★会員番号 No.50 森 幸子さん
- ★会員番号 No.52 田中 早苗さん
- ★会員番号 No.129 尾崎 あかねさん
- ★会員番号 No.130 尾崎 祐輔さん
- ★会員番号 No.131 尾崎 ゆずさん
- ★会員番号 No.137 林 信子さん
- ★会員番号 No.37(家) 齋藤 希望さん
愛さん
夢さん
- ★会員番号 No.75(家) 藤光 徹さん
- ★サポーターNo.9 渡部 美由紀さん
- ★サポーターNo.25 三池 京子さん
- ★サポーターNo.67 山崎 亜紀さん
- ★サポーターNo.96 中野 桂子さん
- ★サポーターNo.140 村井 桂子さん
- ★サポーターNo.169 吉田 奈緒美さん
- ★サポーターNo.170 吉田 康雄さん

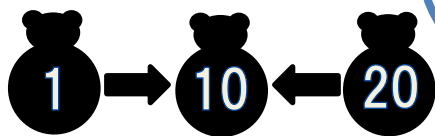
正解の方々にはオリジナルポストカードセットをお送りします。

答え 〇〇〇〇



☆前回の問題

ある動物がいます。この動物は1匹でも10匹、20匹でも10匹だという動物がいます。さてこの動物な〜んだ？



ヒント

- 1、体長 44～55 cmです。
- 2、赤褐色や暗褐色で尾の先が白いです。
- 3、漢字で書くと貂です。

1でも10、20でも10。10は英語でテンなので、

答えはテンでした！

応募要項

読者投稿用紙のクイズ解答欄に答えを記入して郵送するか、メールでお便り下さい。締め切りは4月10日までにご応募ください。

開園案内

- 開園時間 — AM9:00～PM5:00
入園午後 4:30 まで
- 休園日 — 毎週月曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
(12月29日～翌年1月1日)
- 入園料 — 大人(18歳以上) 500円
高校生(15～17歳) 200円
小中学生(6～14歳) 100円
(30名以上の団体 2割引)
- ホームページ — <https://www.tobezoo.com/>
- メールアドレス — tomonokai@tobezoo.com

とべZOO Vol-33 No.4号

令和4年発行 定価 200円(消費税込)
編集・発行人/公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191
愛媛県伊予郡砥部町上原町 240
印 刷/公益財団法人愛媛県動物園協会
編集委員長/前田 洋一
編集副委員長/椎名 修
編集委員/山本 祥菜・宮内 敬介・池田 敬明・宮越 聡
北本 圭一・平澤 萌・吉武 ちとせ・西森 明弥・村上 ひなの
森貞 恭治・白濁 綾・池田 智亮



ミナミコアリクイ



愛媛県立とべ動物園

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示

申請者の氏名：公益財団法人 愛媛県動物園協会

事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町240

登録番号：動愛第441号（展示）、動愛第994号（販売）

動愛第995号（保管）、動愛第996号（貸出し）

登録年月日：平成19年5月31日（展示）

平成29年5月31日（販売、保管、貸出し）

事業所の名前：愛媛県立とべ動物園

動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し

動物取扱責任者の氏名：椎名 修

登録の有効期間の末日：平成34年5月30日

定価 1100円